

参加者インタビュー

今回の参加者の中から2名の方に合同交流会の感想等についてお尋ねしました。



進路選択の材料として幅広い経験をしてみたい!

長崎県立長崎工業高等学校建築科 2年 永尾 彩美さん

工業高校に入ろうと思ったきっかけは何ですか?

小学生の時に家をリフォームするテレビ番組を見たことがきっかけです。家がどんどんきれいになっていくのを見て建築に興味を持ちました。

合同交流会に参加した感想はいかがですか?

進路選択の材料として幅広い経験をしてみたかったので今回の交流会への参加を希望しました。意見交換会は、色々な年齢層の方がいて知らない事が質問できました。現場見学会では、新しい長崎駅舎について施工途中の状況が見られたので良かったです。

建築の魅力は何だと思いますか?

自分が造ったものが後世に残ることだと思います。勉強をするにつれて、建築への興味がどんどん深まっています。

将来の目標は、どのような仕事をしてみたいですか?

設計の仕事がしたいです。大きい建物ではなく住宅の設計をしてお客様との関わりを持ちたいです。お客様は自分の家を持つという夢を持って来られます。私はその夢以上のものを提供できるようになりたいと思っています。

建設業のどの部分に携わりたいかを見つけて!

株式会社 上滝 土木部 木下 奈留美さん

建設業に入ったきっかけは何ですか?

以前から橋などの工事現場を見て「どうやって作っていったらいいんだろう?」と興味があったんですが、「建設業に女性を」という時代に乗っかりました。

合同交流会に参加した感想はいかがですか?

JRの現場は今まで関わる事がなかったので、工事中の作業を見る事ができて良かったと思います。竣工間近でしたが、色々な安全対策の仕方など勉強になりました。

高校生と話してみてどうでしたか?

色々な職種があり悩んでいるようでしたので、建設業のどの部分に携わりたいかを見つけて就職を考えてはどうかというアドバイスをしました。建設業への強い志に関心させられました。



今はどのような仕事をされているのですか?

長崎市内で、水道施設の周辺工事などを行っております。

今までで印象に残っている現場はどのような現場ですか?

島原の水無川が初めての土木工事の現場でした。まだ不慣れな頃、溶岩ドームを背に土木の基礎を学んだこと、自動運転の作業に携われたことが思い出深いです。

その他、何かありましたらお願いします!

現場で働く先輩方には、若い男性や女性の経験不足を理解し、思いやりを持って接していただければ、より良い職場環境が作れるのではないかと考えており、そうなるように願っています。



長崎市内で令和2年1月25日に

“よりより”～ながさき建設女子ネットワーク～

女子高校・大学生合同交流会を開催しました。



意見交換会後の様子



意見交換会後に記念撮影



新しい長崎駅舎を見学



女子高校・大学生に建設業を身近に感じてもらう、将来就職先の選択肢の一つとして検討してもらうことを目的に、県・長崎県建設産業団体連合会の共催により合同交流会を開催しました。(女性技術者・技能者31名、女子高校・大学生21名) 交流会は意見交換会と現場見学会を実施しました。意見交換会では昼食をとりながら交流し、学生から女性技術者に対して仕事の内容などについての質問が出ていました。 現場見学会では高架工事が進むJR長崎駅の新しい駅舎の構内を見学し、JR九州の職員からの説明を熱心に聞く様子が見られました。一部の参加者からは「将来現場で働く姿がイメージできてよかった」と話がありました。 今後同様の取組を県内各地で実施する予定です。

“よりより”ながさき建設女子ネットワークとは?

“よりより”ながさき建設女子ネットワークとは、平成29年2月に建設業で働く女性たちにより誕生した組織です。

長崎を代表するお菓子のよりよりのような存在でありたいと願い込めて、愛称を“よりより”としています。

現在は、交流会を通じ、『女性活躍の推進・継続』・『入職の促進』を考えています。



12月2日に開催された交流会の集合写真

建設業で働く女性のみなさん、参加してみませんか。

特集
2

よりよりながさき建設女子ネットワーク
女子高校・大学生合同交流会開催報告

